

日本放射線技術学会 中国四国部会セミナー

「乳房組織検査の最前線」

開催日時 平成 27 年 1 月 25 日（日）11 時～（受付 10 時半～）

開催場所 愛媛大学医学部附属病院 基礎第三講義室（医学教育棟隣り）

<http://www.m.ehime-u.ac.jp/outline/medicine/index.html#page=24>

参加費 会員 1000 円 非会員 2000 円

現在、乳房の検査は、X 線撮影によるものと超音波（エコー）で行うものがあります。また、同様に乳房組織検査（バイオプシー）も X 線を使用するマンモトーム（伏臥位タイプ、座位タイプ）と超音波（エコー）によるものがあります。

今回、上記日程にて、双方の手法のメリット、デメリットを討論頂くために、乳腺外科医 2 名に基調講演を、放射線技師 3 名に講演して頂き、シンポジウム形式にてセミナーを開催致します。

多くの方の御参加をお願い致します。

- プログラム -

○11:00 開会挨拶（座長紹介）

座長 JA 広島総合病院 小濱 千幸

○11:05～12:15

（Ⅰ）乳腺外科医の立場から（発表 30 分 質疑 5 分）

基調講演 1

「マンモトームによる乳房組織検査（バイオプシー）の紹介と症例報告」

愛媛大学医学部附属病院 乳腺センター 亀井 義明先生

基調講演 2

「エコー下による乳房組織検査（バイオプシー）の有用性と症例報告」

たけべ乳腺外科クリニック副院長 新井 貴士先生

○12:15～13:15

（Ⅱ）ランチョンセミナー（シーメンス・ジャパン（株））

○13:15～14:45

（Ⅲ）診療放射線技師の立場から（発表 20 分 質疑 5 分）

・「伏臥位タイプのマンモトームの紹介と使用経験」

愛媛大学医学部附属病院 診療支援部 放射線技術部門 大窪 遙香

・「座位タイプのマンモトームの紹介と使用経験」

愛媛県立中央病院 放射線部 渡辺 真由美

・「当院における MMG/US 検診の要精査基準」

たけべ乳腺外科クリニック 綾野 はるな

終了後、講師 5 名と参加者で質疑応答 15 分

○15:00 閉会挨拶